

**2006年(平成18年)3月期  
第3四半期  
財務・業績概況 説明資料**

**東レ株式会社**

# 目次

---

## ・2006年3月期第3四半期

### 財務・業績概要(連結)

- ・連結業績の概要  
(第3四半期まで累計) (P4)
- ・連結業績の概要(第3四半期) (P5)
  - ・営業外収支(第3四半期) (P6)
  - ・特別損益(第3四半期) (P7)
- ・連結業績の概要(財政状態) (P8)
  - ・設備投資額・減価償却費 (P9)
- ・事業セグメント別業績 (P10-17)
- ・営業利益増減要因分析 (P18)

## ・2006年3月期業績見通し(連結)

- ・連結業績見通し (P20)
- ・事業セグメント別業績見通し (P21)

## ・2006年3月期単体業績見通し

- ・単体業績見通し (P23)

**・ 2006年3月期第3四半期  
財務・業績概要(連結)**

# 連結業績の概要(第3四半期まで累計)

億円

蝶理・水道機工の上期の影響を除いた場合

	05年3月期 (4-12月累計)	06年3月期 (4-12月累計)	増減	05年3月期 (4-12月累計)	06年3月期 (4-12月累計)	増減
売上高	9,119	10,265	+1,146 (+12.6%)	9,119	9,235	+116 (+1.3%)
売上総利益	1,914	2,135	+222 (+11.6%)	1,914	2,033	+120 (+6.2%)
(売上高総利益率)	21.0%	20.8%	-0.2 ポイント	21.0%	22.0%	+1.0 ポイント
販売費及び 一般管理費	1,412	1,557	+145 (+10.3%)	1,412	1,464	+53 (+3.7%)
(売上高販管費比率)	15.5%	15.2%	-0.3 ポイント	15.5%	15.9%	+0.4 ポイント
営業利益	502	578	+76 (+15.2%)	502	569	+67 (+13.3%)
(売上高営業利益率)	5.5%	5.6%	+0.1 ポイント	5.5%	6.2%	+0.7 ポイント
営業外収支	18	37	-19 (-)			
経常利益	484	542	+57 (+11.8%)			
特別損益	61	48	+12 (-)			
税前利益	424	493	+70 (+16.4%)			
純利益	268	280	+12 (+4.6%)			

(通期営業利益見通しに対する第3Qまで累計の進捗率)

	05年 3月期	06年 3月期
第3Qまで累計営業利益	502	578
通期営業利益 05年3月期は実績 06年3月期は見通し	811	920
第3Qまで累計の進捗率	62.0%	62.9%

(注) 3月期決算会社は4～12月の業績, 12月期決算会社は1～9月の業績を連結

# 連結業績の概要(第3四半期)

億円

	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減
売上高	3,362	3,477	+116 (+3.4%)
売上総利益	643	715	+72 (+11.2%)
(売上高総利益率)	19.1%	20.6%	+1.4 ポイント
販売費及び 一般管理費	497	525	+28 (+5.7%)
(売上高販管費比率)	14.8%	15.1%	+0.3 ポイント
営業利益	146	190	+44 (+30.0%)
(売上高営業利益率)	4.4%	5.5%	+1.1 ポイント
営業外収支	10	17	-7 (-)
経常利益	136	173	+37 (+27.1%)
特別損益	19	11	+30 (-)
税前利益	117	185	+67 (+57.5%)
純利益	70	112	+43 (+61.3%)

(注) 3月期決算会社は10～12月の業績, 12月期決算会社は7～9月の業績を連結

# 営業外収支(第3四半期)

億円

	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減
営業外収益	33	39	+6
受取利息及び配当金	4	7	+2
持分法による投資利益	13	17	+5
雑収益	16	14	-2
営業外費用	43	55	-12
支払利息	19	21	-2
雑損失	24	34	-10
営業外収支	10	17	-7
金融収支	15	14	+0
雑収支	8	20	-12

注) 収益はプラス、費用はマイナス( )で表示

# 特別損益(第3四半期)

億円

	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	特記事項
特別利益	2	24	+22	
有形固定資産売却益	0	3	+3	
投資有価証券売却益	1	21	+20	保有意義の低下した株式の売却
特別損失	21	13	+8	
有形固定資産売却廃棄損	7	8	-0	
構造改善費用	13	5	+9	繊維、プラ・ケミ設備の廃棄損・廃棄費用減等
その他	0	1	-0	
ネット特別損益	19	11	+30	

注) 収益はプラス、費用はマイナス( )で表示

# 連結業績の概要(財政状態)

億円

	05年9月末	05年12月末	増減	特記事項	05年3月末 <ご参考>
総資産	14,226	14,911	+685		14,023
流動資産	6,239	6,562	+323	手元資金の増加等	6,444
有形固定資産	5,358	5,559	+201	設備投資の増加等	5,320
無形固定資産	112	110	-2		108
投資その他	2,517	2,679	+162	投資有価証券の増加等	2,151

	05年9月末	05年12月末	増減	特記事項	05年3月末 <ご参考>
負債合計	8,892	9,351	+459		8,964
流動負債	5,056	5,266	+210		5,237
固定負債	3,835	4,085	+249	長期借入金の増加等	3,727
少数株主持分	490	509	+19		533
資本合計	4,844	5,051	+207		4,525
有利子負債残高	4,595	4,861	+266		4,668
D / Eレシオ	0.95	0.96	+0.01		1.03



# 設備投資額・減価償却費

億円

< 06年3月期第3四半期まで累計 >

	05年3月期 (4-12月累計)	06年3月期 (4-12月累計)	増減	特記事項	06年3月期 年間見通し
設備投資額	384	612	+228	東レ:213、国内:82、海外:317	950
減価償却費 - )	477	465	-12	東レ:191、国内:73、海外:201	640
振替・除却等	2	92	+94		
有形固定資産増減	95	239			

< 06年3月期第3四半期 >

	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	特記事項
設備投資額	150	294	+144	東レ:115、国内:44、海外:136
減価償却費 - )	162	161	-1	東レ:67、国内:25、海外:69
振替・除却等	30	69	+39	
有形固定資産増減	18	201		

当第3四半期中の主な設備投資：

- < 国内 > 東レ：PETフィルム設備改造 2006年9月稼働予定
- ：PPフィルム設備 2006年4月稼働予定
- < 海外 > CFA：炭素繊維設備(米国) 2006年1月稼働
- PFR：PETフィルム設備(マレーシア) 2006年9月稼働予定

# 事業セグメント別業績(売上高 / 営業利益)

< 06年3月期第3四半期まで累計 >

億円

	売上高			営業利益		
	05年3月期 (4-12月累計)	06年3月期 (4-12月累計)	増減	05年3月期 (4-12月累計)	06年3月期 (4-12月累計)	増減
繊維	3,705	4,319	+614 (+16.6%)	137	146	+8 (+6.0%)
プラスチック・ケミカル	2,186	2,486	+300 (+13.7%)	98	133	+34 (+35.1%)
情報通信材料・機器	1,636	1,692	+57 (+3.5%)	212	198	-14 (-6.5%)
炭素繊維複合材料	327	380	+53 (+16.2%)	41	87	+46 (+114.2%)
環境・エンジニアリング	762	902	+140 (+18.3%)	7	8	-1 (-)
ライセンスその他	502	485	-17 (-3.4%)	19	26	+7 (+37.5%)
(内医薬・医療)	302	305	+4 (+1.3%)	3	9	+12 (-)
連結	9,119	10,265	+1,146 (+12.6%)	502	578	+76 (+15.2%)

# 事業セグメント別業績(売上高 / 営業利益)

< 06年3月期第3四半期 >

億円

	売上高			営業利益		
	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減
繊維	1,463	1,432	-31 (-2.1%)	37	42	+5 (+14.4%)
プラスチック・ケミカル	838	898	+60 (+7.2%)	38	46	+9 (+23.0%)
情報通信材料・機器	551	581	+30 (+5.4%)	62	67	+5 (+7.9%)
炭素繊維複合材料	112	136	+24 (+21.2%)	13	28	+16 (+124.3%)
環境・エンジニアリング	242	283	+41 (+16.7%)	10	4	+14 (-)
ライフサイエンスその他	155	148	-8 (-4.9%)	6	6	-0 (-2.3%)
(内医薬・医療)	99	102	+3 (+2.6%)	0	3	+2 (+800.0%)
連結	3,362	3,477	+116 (+3.4%)	146	190	+44 (+30.0%)

# 事業セグメント別業績(繊維)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	
東レ	295	289	-5 (-1.8%)	15	14	-1 (-7.9%)	不採算品種の戦略的削減による販売量減少の影響もあり、減収。産業用途は堅調に推移したが、国内衣料用途需要は引き続き盛り上がりを欠き、微減益。
国内	773	719	-54 (-7.0%)	19	16	-3 (-14.8%)	商事子会社が振るわず、減収減益。
海外	395	423	+28 (+7.1%)	6	13	+7 (+122.7%)	東南アジアのポリエステル/綿混織物子会社が拡販を進めるとともに、中国の子会社も収益を改善し、増収増益。
修正				3	0	+2	
計	1,463	1,432	-31 (-2.1%)	37	42	+5 (+14.4%)	

## < 主要関係会社 >

国内：東レインターナショナル、一村産業、蝶理 他

アジア：PENFABRIC(マレーシア)、LUCKYTEX(タイ)、ITS(インドネシア)、TFNL(中国) 他

欧米：ALCANTARA(イタリア) 他

# 事業セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	
東レ	205	193	-13 (-6.1%)	1	6	+5 (+451.4%)	樹脂事業は、自動車用途を中心に堅調に推移したが、昨年度まで外部商社経由の中国向けビジネスを子会社経由に変更したため、内部消去増で減収。フィルム事業は、工業材料用途で拡販を進め、東レ全体で増益。
国内	353	366	+13 (+3.6%)	17	23	+6 (+34.0%)	商事子会社が拡販を進めるとともに、フィルム加工子会社も工業材料用途が順調に推移し、増収増益。
海外	279	339	+60 (+21.5%)	15	17	+2 (+12.1%)	マレーシアの樹脂・フィルム各子会社が堅調に推移するとともに、昨年まで外部商社経由であった中国向け樹脂ビジネスを香港の子会社に取り込むことにより、増収増益。
修正				5	1	-4	
計	838	898	+60 (+7.2%)	38	46	+9 (+23.0%)	

## < 主要関係会社 >

国内： 東レフィルム加工、東レ・ファインケミカル、曾田香料、蝶理 他

海外： TPA(アメリカ)、TPM(マレーシア)、TPEu(フランス)、TSI(韓国) 他

# 事業セグメント別業績 (情報通信材料・機器)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	
東レ	194	238	+45 (+23.2%)	35	30	-5 (-13.4%)	IT関連樹脂・フィルム、回路材料、半導体材料等の拡販を進め、増収なるも、光学用フィルムの増産準備に伴う開発費用の増加及び、携帯用LCD市場の競争激化によるカラーフィルター販売価格の低下等もあり、減益。
国内	239	207	-32 (-13.6%)	23	24	+2 (+8.3%)	昨年需要が旺盛であったスリットコーターの需要一巡の影響で減収。一方、フィルム加工子会社はFPD用フィルムや回路材料の拡販を進め、増収増益。国内全体では、減収ながら増益。
海外	119	136	+17 (+14.6%)	4	12	+8 (+213.6%)	韓国子会社がFPD用フィルムの拡販を進めるとともに、回路材料関連事業も好調に推移し、増収増益。
修正				1	0	-1	
計	551	581	+30 (+5.4%)	62	67	+5 (+7.9%)	

< 主要関係会社 >

国内： 東レエンジニアリング、東レフィルム加工 他

海外： TPA(アメリカ)、TPEu(フランス)、TSI(韓国) 他

# 事業セグメント別業績 (炭素繊維複合材料)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	
東レ	85	113	+28 (+33.1%)	8	15	+7 (+79.5%)	航空機用途に加え、機械部品・土木建築等産業用途が堅調に推移するとともに、需給タイトを背景としたゴルフシャフト等スポーツ用途の値戻しも進み、増収増益。
国内	60	76	+16 (+25.7%)	0	1	+0 (+116.2%)	商事子会社が順調に拡販し、増収増益。
海外	84	103	+18 (+21.7%)	4	13	+9 (+205.9%)	欧州子会社の増産・増販効果とともに、米国子会社も航空機用途を中心に拡販、アジアを含む各地域で高採算品へのシフトが進み、増収増益。
修正	117	155	-38	1	1	-1	
計	112	136	+24 (+21.2%)	13	28	+16 (+124.3%)	

< 主要関係会社 >

国内：東レインターナショナル

海外：SOFICAR (フランス) 他

本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大き  
く、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

# 事業セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	
東レ	17	18	+2 (+9.8%)	2	2	-0 (-)	
国内	220	262	+42 (+18.9%)	9	5	+14 (-)	建設子会社・エンジニアリング子会社が拡販と体質強化を進め、増収増益。
海外	6	3	-3 (-49.5%)	0	0	+0 (-)	
修正				2	2	+0	
計	242	283	+41 (+16.7%)	10	4	+14 (-)	

< 主要関係会社 >

国内: 東レ建設、東レエンジニアリング、東レACE、水道機工 他



# 事業セグメント別業績(ライフサイエンスその他)

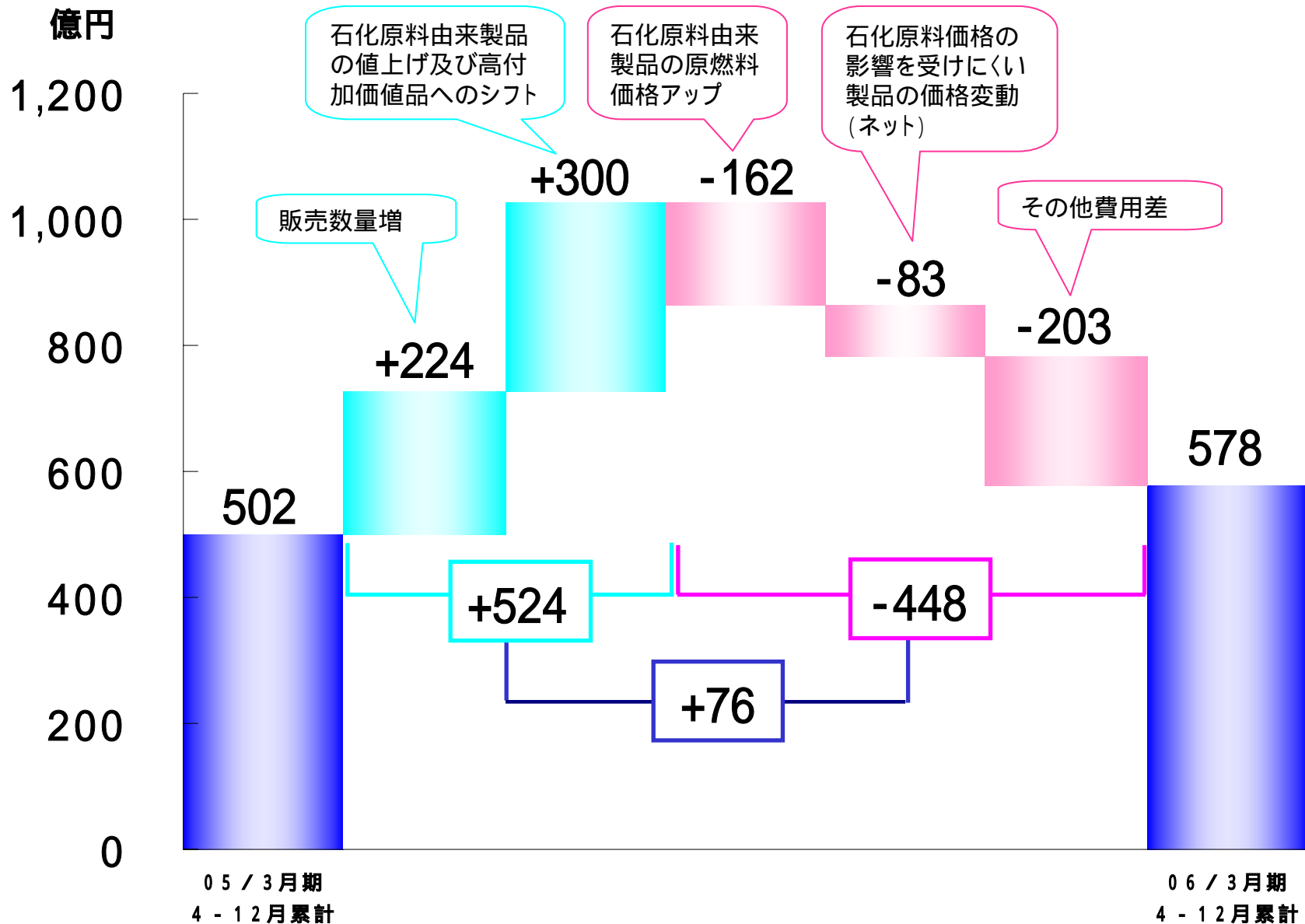
億円

	売上高			営業利益			特記事項
	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	05年3月期 第3四半期	06年3月期 第3四半期	増減	
東レ	24	23	-1 (-3.9%)	0	3	-3 (-)	医薬事業は、競争激化の影響により、減収減益。
国内	123	116	-7 (-5.8%)	5	7	+2 (+49.6%)	医療子会社は、拡販と体質強化を進め、増収増益。昨年度にホテル事業を譲渡したこと等もあり、全体では減収増益。
海外	9	9	+0 (+5.4%)	0	0	-0 (-55.1%)	
修正				1	1	+0	
計	155	148	-8 (-4.9%)	6	6	-0 (-2.3%)	
(内医薬・医療)	99	102	+3 (+2.6%)	0	3	+2 (+800.0%)	

< 主要関係会社 >

国内：東レ・メディカル、東レリサーチセンター、東レインタープライズ 他

# 営業利益増減要因分析(第3四半期まで累計)



**・ 2006年3月期  
業績見通し(連結)**

# 連結業績見通し

億円

	前年度実績	今回見通し	増減	中間決算 時見通し
売上高	12,986	14,300	+1,314 (+10.1%)	14,300
営業利益	811	920	+109 (+13.5%)	920
経常利益	768	870	+102 (+13.3%)	870
当期純利益	344	430	+86 (+25.0%)	430

想定為替レート(2006年1月～2006年3月) : 120円 / US \$、143円 / ユーロ  
 想定原油価格(2006年1月～2006年3月) : US \$ 55 / B(ドバイFOB)

# 事業セグメント別業績見通し (売上高 / 営業利益)

億円

	売上高			営業利益			特記事項
	前年度実績	今回見通し	増減	前年度実績	今回見通し	増減	
繊維	5,134	5,800	+666 (+13.0%)	209	210	+1 (+0.6%)	原燃料価格高騰の影響はあるも、価格転嫁・高採算品へのシフトを進めるとともに、海外子会社を中心に拡販を進め、増収増益の見込み。
プラスチック・ケミカル	3,004	3,300	+296 (+9.9%)	157	175	+18 (+11.8%)	自動車用樹脂及び包装材料用・工業材料用フィルムの拡販を進めるとともに、原燃料価格高騰分の価格転嫁を図り、増収増益の見込み。
情報通信材料・機器	2,191	2,400	+209 (+9.5%)	283	315	+32 (+11.4%)	IT関連需要の回復を受け、FPD関連フィルム、フィルム加工品、回路材料等の拡販により、増収増益の見込み。
炭素繊維複合材料	447	500	+53 (+11.9%)	56	110	+54 (+96.6%)	航空機、産業、スポーツ全用途での旺盛な需要に加え、仏SOFICARの増設効果が寄与し、増収増益の見込み。
環境・エンジニアリング	1,487	1,600	+113 (+7.6%)	43	50	+7 (+16.4%)	水道機工連結子会社化を主因に増収の見込み。エンジニアリング子会社及び建設子会社が好調に推移することを主因に、増益の見込み。
ライセンスその他	723	700	-23 (-3.2%)	65	60	-5 (-7.2%)	前年度に子会社のホテル事業を譲渡したこと等により、減益の見込み。
(内医薬・医療)	444	450	+6 (+1.5%)	29	30	+1 (+5.2%)	
連結	12,986	14,300	+1,314 (+10.1%)	811	920	+109 (+13.5%)	

**. 2006年3月期単体  
業績見通し**

# 単体業績見通し

億円

	前年度実績	今回見通し	増減	中間決算 時見通し
売上高	4,761	5,000	+239 (+5.0%)	5,000
営業利益	354	390	+36 (+10.1%)	390
経常利益	431	510	+79 (+18.4%)	510
当期純利益	118	260	+142 (+120.6%)	260

---

本資料中の2006年3月期の業績見  
通し及び事業計画についての記述  
は、現時点における将来の経済環境  
予想等の仮定に基づいています。  
本資料において当社の将来の業績  
を保証するものではありません。